

2025(令和7)年度前期 法華コモンズ講座 4月より開講

## 開設講座一覧と受講の手引き

### 《 開設講座 》

- 仏教哲学再考② 『大乘起信論』を手掛かりにⅣ 全4回 【オンライン講座】  
開講時間：水曜日 午後6時30分～8時30分 講師：末木文美士  
開催日： 第1回(通算13講) 4月9日 第3回(通算15講) 6月11日  
第2回(通算14講) 5月7日 第4回(通算16講) 7月2日
- 歴史から考える日本仏教⑫ 「中世社会と寺社の諸相」全4回 【オンライン講座】  
開講時間：火曜日 午後6時30分～8時30分 講師：菊地大樹  
開催日：第1講 4月15日 中世寺社の成立—権門寺社と荘園制—  
第2講 5月20日 中世寺社の本末関係—白山・延暦寺の強訴から—  
第3講 6月17日 僧侶・神官のライフサイクルと身分  
第4講 7月22日 寺社聖教の発展と流布 ※4講のみ対面・実況
- シリーズ講座 《法華仏教講座》 全6回 【対面&実況】  
開講時間：土曜日 午後3時30分～5時30分  
第1回 4月19日 「日蓮における五義判の形成と展開」 講師：花野充道  
第2回 5月10日 「写本で伝来した日蓮の御書における真偽と系年」 講師：川崎弘志  
第3回 6月28日 「安然の円密—一致思想の特徴」 講師：土倉 宏  
第4回 7月 5日 「千葉一族の信仰と富木常忍の周辺」 講師：坂井法暉  
第5回 8月 2日 「近世過去帳の世界—西山本門寺18世日順『内過去帳』を中心として—」 講師：本間俊文  
第6回 9月27日 「「五時八教は天台教判に非ず」の再検討」 講師：花野充道
- 連続講座 『法華経』『法華文句』講義 全6回 【対面&実況】 講師：菅野博史  
開講時間：月曜日 午後6時30分～8時30分 【受講料】  
開催日：第1回 4月28日 / 第2回 5月26日 / 第3回 6月30日  
第4回 7月28日 / 第5回 8月25日 / 第6回 9月29日

※受講申込は、裏表紙(12頁)の「受講申込みについて」よりお願いいたします

法華コモンズ仏教学林事務局

## 「再歴史化」の知的な拠点を創りましょう！ 理事長 西山 茂

戦前期に生きた田中智学は、日蓮仏教を近代日本に「再歴史化」（蘇生）するために、「祖道復古」と「国体開頭」および「宗門革命」（宗門の維新）の旗を掲げて日蓮主義の運動を主導し、複数の教学講習会を開いて、以後の日蓮仏教諸派の僧俗に多くの影響を与えました。

今回、私たちが11年間も続いた本化ネットワーク研究会を閉じて法華コモンズ仏教学林（門流や会派を超えた法華仏教の学び舎）を起ち上げたのも、法華仏教（日蓮仏教）を現代日本に「再歴史化」するためにほかなりません。

「再歴史化」の意味を深く考えるとすれば、それは普遍的な宗教真理は特殊的な歴史状況のなかに繰り返す「再歴史化」されなければ人々への説得力を失ってしまう、ということでしょう。

現代社会は智学の時代と違ってより複雑化しているだけでなく、教学や遺文の研究レベルも上がり、それだけ私たちが学ばなければならないことが多くなっています。こうしたことは、門流や会派が単独で法器養成等に取り組むことを非常に難しくしているといえます。そして、このような事態も、法華コモンズ仏教学林の誕生を促す要因となっているといえるでしょう。幸い、法華コモンズ仏教学林には、多彩で優れた講師陣が揃っています。

皆さま、この際、どうか法華コモンズ仏教学林の受講生となり、門流や会派の中垣を超えて法華仏教（日蓮仏教）の共通の智を学び、ともに仏国土づくりの聖業に邁進しようではありませんか。



## 皆様のご参加をお待ちしております！ 学林長 布施 義高

日蓮仏教の「再歴史化」を理念として、斯界に新たな地平を切り開いた、東洋大学名誉教授・西山茂先生主宰の本化ネットワーク研究会。また、日蓮聖人の実像や、壮大なスケールの思想の全体像を浮き彫りにすべく、日蓮門下が一丸となって編集され、平成27年全五巻の刊行完結をみた『シリーズ日蓮』（春秋社）。こうした画期的な成果を受け継ぎ、平成28年4月、西山茂先生を理事長、シリーズ日蓮刊行会会長・佐古弘文先生（同年11月御遷化）を副理事長に仰ぎ、法華コモンズ仏教学林が始動いたしました。

これから本格的に法華経や日蓮聖人を学びたい方の登竜門として、また、各教団が課題とする人材育成、次代の日蓮門下全体の隆盛へ向けての基礎作りの場として、さらには、より高みを目指す研究者の研鑽の場として、多様なニーズを満たせるよう、スタッフ一同、鋭意努力して参ります。

法華コモンズの主役は、これから参加される皆様お一人おひとりです。仏教界全体に、時代を先導し、光明を灯す力が求められている昨今、日蓮仏教（法華仏教）の立場から、世の期待に大いに応えていこうではありませんか。



## 法華コモンズ仏教学林 スタッフ紹介

### 【運営スタッフ】

- 理事長 西山 茂
- 学林長 布施義高
- 事務担当 澁澤光紀  
竹内敬雅
- 財務担当 竹内敬雅
- ブログ担当 林 明彦
- X (旧 Twitter) 担当 武川清明
- ビデオ班 竹内敬雅／神蔵寿観／林 明彦
- 総務担当 西條義昌／谷口智／稲田隆広／山名隆年

### 【教学委員】

- 上杉清文
- 花野充道
- 菅野博史
- 寺尾英智
- 三輪是法

### 【講座担当】

- 末木先生講座 波田地克利／佐古弘純
- 菊地先生講座 西山明仁／布施義高
- 法華仏教講座①②③ 竹内敬雅／武川清明
- 法華仏教講座④⑤⑥ 澁澤光紀／林 明彦
- 菅野先生講座 松永良樹／澁澤光紀

## 【 講座会場 】

福聚山 常円寺 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-12-5 寺務所 ☎ 03 (3371) 1797

祖師堂 地階ホール (または日蓮仏教研究所の一階「学室」)

※講義は、【対面&実況】(会場での「対面講義」と「zoom オンライン実況」)、または【オンライン実況講義】で開講しています。講義の終了後には、「講義ビデオ配信(一か月間有効)」を行っていますので、日程が合わない方や遠方の方も「ビデオ受講」をすることが出来ます。

※諸状況で講義が延期・中止になった場合は、「受講料を返却」しております。

### 《会場への交通》

- JR線・小田急線・京王線・丸ノ内線を利用の場合  
⇒ 新宿駅西口改札より徒歩6分
- 西武新宿線を利用の場合  
⇒ 西武新宿駅正面口改札より徒歩6分
- 大江戸線を利用の場合  
⇒ 新宿西口駅「D5出口」より徒歩3分
- 丸ノ内線を利用の場合  
⇒ 西新宿駅1番出口より徒歩4分



法華コモンズ仏教学林 2025年度前期 連続講座 全4回

オンライン講座

## 仏教哲学再考② —『大乘起信論』を手掛かりに IV—

講師：末木文美士 先生

### 【講義概要】

『大乘起信論』は、東アジアの仏教全体に大きな影響を与えている。本講義では、『起信論』自体を読みこむというよりは、『起信論』が東アジアでどのように受け止められ、どのように変容したかを、真如・如来蔵・本覚などの概念の展開を含めて考える。張文良『《大乘起信論》思想史研究』（中国語。中国社会科学出版社、2020）を参考として、張氏が「方法としての《大乘起信論》」と呼ぶ方法により、『起信論』を手掛かりとして東アジア仏教思想を考えてみたい。

※1学期4回の開催で、4学期16回ほど連続講義の予定。テキストは岩波文庫版『大乘起信論』（宇井伯寿・高崎直道訳注）を使うので、受講者は事前に購入のこと。

### 【講師略歴】

末木文美士（すえき ふみひこ）：1949年山梨県生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。文学博士。現在、東京大学名誉教授、国際日本文化研究センター名誉教授、未来哲学研究所所長。専攻は仏教学、日本思想。著書に『日本仏教史 思想史としてのアプローチ』（新潮文庫）、『仏教 言葉の思想史』（岩波書店）、『日蓮入門 現世を撃つ思想』（ちくま新書）、『思想としての仏教入門』（トランスビュー）、『『碧巖録』を読む』（岩波現代文庫）、『草木成仏の思想』（サンガ）、『冥顕の哲学1、2』（ぶねうま舎）、『日本思想史』（岩波新書）、他多数。

【講義日】全4回 時間（原則・水曜日）：午後6時30分～8時30分（Zoom配信）

第1回	（第13講）	2025年	4月	9日
第2回	（第14講）	〃	5月	7日
第3回	（第15講）	〃	6月	11日
第4回	（第16講）	〃	7月	2日

【受講料】 1期4回分 8,000円 ※当日1回の受講料は 3,000円です

※本講座は、オンライン実況講義のみでの開催です。後に動画配信もあります。

法華コモンズ仏教学林 2025 度 前期 連続講座全4回 **オンライン講座**

歴史から考える日本仏教⑫

# 中世社会と寺社の諸相

講師：菊地 大樹 先生

## 【講義概要】

この講座は、歴史学の立場から日本仏教のさまざまな側面を継続的に考えてゆくことを目指します。これは言い換えれば、教理文献に残された思想を、それが著された時代の文脈の中で立体的にとらえなおす営みに他なりません。しかもひとつの時代は系譜となって、前後に長く連なってもいます。そこで日蓮の生きた鎌倉時代をつねにどこかで射程に入れつつも、ときには原始古代にまでさかのぼり、また私たちの生きる近現代にも立ち戻って進んでいきたいと思えます。

2025 年度前期は、古代寺院が中世寺社に転換し、定着していく様に注目しながら、寺社の組織や制度に注目してみたいと思えます。日本仏教史というと、従来は教理・思想史に偏りがちでした。しかし、そのような教理を支えた僧侶・神官の身分、また寺社の組織、さらにはそれらの器としての寺社はどのように成立し、支えられてきたのでしょうか。

本講義では、国家や地方といった中世社会との関係を意識しながら、宗教施設としての寺社やそれを運営していた僧侶・神官の組織、そして社会的機能・役割に焦点を当てていきます。さらに、「聖教」と呼ばれるいくつかの史料群を紹介しながら、中世文化への影響についても考えていきます。

【講義日】全4回（火曜日） 時間：午後6時30分～8時30分

第1講 4月15日 中世寺社の成立—権門寺社と荘園制— **オンライン講義**

第2講 5月20日 中世寺社の本末関係—白山・延暦寺の強訴から— **オンライン講義**

第3講 6月17日 僧侶・神官のライフサイクルと身分 **オンライン講義**

第4講 7月22日 寺社聖教の発展と流布 **対面&実況講義 会場：常円寺祖師堂**

## 【講師略歴】

菊地大樹（きくち ひろき）： 東京大学大学院修士課程修了。博士（文学）。現在、東京大学史料編纂所教授。著書に『中世仏教の原形と展開』（吉川弘文館、2007年）、『日本人と山の宗教』（講談社、2020年）、『吾妻鏡と鎌倉の仏教』（吉川弘文館、2023年）他。論文に「再考：持経者から日蓮へ」（『花野充道博士古稀記念論集』山喜房仏書林、2020年）、「鳥羽院政期の宗教史的位置」（『日本仏教総合研究』22号、2024年）他。

【受講料】 1期4回分 8,000円 ※当日1回の受講料は 3,000円です

※本講座は、オンライン講義ですが、**第4講のみ対面&実況**で開催です。後に動画配信もあります。

法華コモンズ仏教学林 2025年度前期 全6回 **対面&実況**

## シリーズ講座「法華仏教講座」

【日 時】全6回 原則土曜日の午後3時30分～5時30分（2025年4月～2025年9月の6回）

【会 場】新宿常円寺祖師堂地階ホール 新宿区西新宿7-12-5 寺務所 ☎ 03 (3371) 1797

※対面講義が不可の場合は、オンラインのみ（後に動画配信）で開催する予定です

【受講料】1期6回分 12,000円 ※1回のみ受講料は3,000円です

### 第1回 日蓮における五義判の形成と展開

講師：花野充道 先生

【日 時】 2025年 4月19日（土） 午後3時30分～5時30分

#### 【講義概要】

五義判とは、『教機時国鈔』に説かれる「教・機・時・国・教法流布の前後」を言う。日蓮聖人が、いつから五義判を説き始めたかについては、昭和11年の鈴木一成氏の論考以来、茂田井教亨氏、浅井円道氏、上田本昌氏、日野学誠氏、野口眞澄氏、渡辺彰良氏、庵谷行亨氏、深谷恵子氏等によって論じられてきた。平成15年に、立正大学日蓮教学研究所が編集した『日蓮聖人遺文辞典（教学篇）』では、浅井円道氏と小松邦彰氏が解説して、「五義が始めて発表されたのは弘長二年二月、配流地伊東で著された『教機時国鈔』においてである。……次いで同年の『顕謗法鈔』、さらに文永元年九月の『当世念仏者無間地獄事』、同年十二月の『南條兵衛七郎殿御書』等に、相次いで発表されている。このことは日蓮が伊豆配流を契機に五義を連続的に説示したことを物語っている」と記されている。

ところが近年、これらの遺文の系年について疑義が提示された。ならば、日蓮はいつから五義判を説き始めたのか。「日蓮における五義判の形成と展開」について考えてみたい。

#### 【講師略歴】

花野充道（はなの じゅうどう）：1950年京都府生まれ。早稲田大学大学院文学部東洋哲学専攻博士課程修了。博士(文学)。法華仏教研究会主宰。『法華仏教研究』編集長。法華コモンズ仏教学林教学委員。単著に『天台本覚思想と日蓮教学』（山喜房仏書林、2010年）、単編著に『シリーズ日蓮第1巻・法華経と日蓮』（春秋社、2014年）、『シリーズ日蓮第2巻・日蓮の思想とその展開』（春秋社、2014年）、『シリーズ日蓮第3巻・日蓮教団の成立と展開』（春秋社、2015年）、『花野充道博士古稀記念論文集—仏教思想の展開・日蓮仏教とその展開』（山喜房仏書林、2020年）。他、論文多数。

### 第2回 写本で伝来した日蓮の御書における真偽と系年 講師：川崎弘志 先生

【日 時】 2025年 5月10日（土） 午後3時30分～5時30分

#### 【講義概要】

真蹟がなく写本で伝わった日蓮の御書（身延曾存を含む）は、その真偽や系年などについて問題点が少な

からずある。ここでは佐前御書である15『守護国家論』の系年を中心に、13『武蔵殿御消息』・14『十住毘婆沙論尋出御書』・15『守護国家論』・20『災難興起由来』・21『災難対治鈔』・24『立正安国論』などを取り上げる。これらの御書の真偽や系年、問題点について先行研究を紹介し、私説を提示したい。

#### 【講師略歴】

川崎弘志（かわさき ひろし）：1954年大阪府生まれ。大阪工業大学工学部応用化学科卒、法華仏教研究編集委員。大学卒業後に関東のゴム部品製造業でエンジニアとして勤務する傍ら、日蓮の研究を行う。近年の論考に「日蓮花押母字の「妙」字説の研究」（『法華仏教研究』34号）、「創価学会近代史の研究（一）」（『法華仏教研究』29号）、「台密における日蓮の血脈相承の系譜」（『法華仏教研究』28号）等がある。

### 第3回 安然の円密一致思想の特徴

講師：土倉 宏 先生

【日 時】 2025年 6月 28日（土） 午後3時30分～5時30分

#### 【講義概要】

台密は円密一致を綱格とし、台密の大成者は安然（841-889-897）とされている。円密一致思想もまた安然によってその骨格が形成されたと言ってよいであろう。円密一致とは円教としての天台法華思想と密教思想が同じものであるとするものであるが、安然の主著である『教時問答』と『菩提心義抄』を読み進めると、意外ではあるが、天台法華思想と密教思想を直接会通する場面は少なく、天台法華思想と密教思想を媒介するものとして如来藏思想系統の真如論を採用して円密一致を図る傾向が顕著である。

安然が採用する真如論は『仏性論』や『大乘起信論』の真如論であるが、その真如論は原典の『仏性論』、原典の『大乘起信論』における真如論というよりも、安然独自の解釈がそこに付加された真如論である。

本講演ではこのような安然の円密一致思想の内容の一端に触れてみたい。また、日蓮における安然への視座という問題にも触れてみたい。

#### 【講師略歴】

土倉宏（つちくら ひろし）：1954年神奈川県生まれ。東洋大学文学部教育学科卒業。東洋大学大学院博士前期課程（仏教学）修了。同大学院博士後期課程（仏教学）単位取得退学。修士（文学）。現在、（公財）東洋哲学研究所委嘱研究員。専門は天台密教。主要論文：「安然における心真如門と心生滅門の記述に関する問題について」（『印度学仏教学研究』第72巻-1）、「安然における真如随縁の円教義的解釈」（『印度学仏教学研究』第71巻-1）、「安然における『仏性論』の円教義的解釈について」（『印度学仏教学研究』第69巻-1）、「日蓮における安然の問題」（『印度学仏教学研究』第61巻-1）、「安然撰『菩提心義抄』の五教思想に関する一考察—与奪の二論を中心に—」（『東洋学研究』第40号）。

### 第4回 千葉一族の信仰と富木常忍の周辺

講師：坂井法暉 先生

【日 時】 2025年 7月 5日（土） 午後3時30分～5時30分

#### 【講義概要】

下総国を中心に活躍した千葉氏は、多彩な信仰をもつ一族だった。また領内の下総国では、浄土宗や真言宗、日蓮宗など、様々な宗派が活動を展開していた。千葉氏の被官で日蓮の有力檀越だった富木常忍も

そんな環境の中にあったが、この講座では資料をもとに標記について考えてみたい。

#### 【講師略歴】

坂井法暉（さかい ほうよう）：1970 年生まれ。立正大学仏教学部卒業。興風談所所員・千葉市立郷土博物館史料研究員。論文：「新加文書「国分朝胤書状」（称名寺聖教紙背文書）の紹介」（千葉市立郷土博物館『研究紀要』30 号）、「日蓮の語る承久の乱とその周辺」（細川重男編『承久の乱研究の最前線』朝日選書〈近刊〉）など。

### 第5回 近世過去帳の世界—西山本門寺 18 世日順『内過去帳』を中心として—

【日 時】 2025 年 8 月 2 日（土） 午後 3 時 30 分～5 時 30 分 講師：本間俊文 先生

#### 【講義概要】

過去帳とは、死者の戒名・俗名・没年月日などを記載した、仏具としての帳簿のことである。日蓮教団関係の過去帳では、10,000 件超の物故者を収める内容豊富な中世過去帳の『本土寺過去帳』（松戸市本土寺所蔵）が特に有名だが、中世から近世初期にかけて成立した過去帳の現存数は僅少とされている。

本講座で取り上げる『内過去帳』は、日興門流系単立本山西山本門寺（静岡県富士宮市）第 18 世法性阿闍梨日順（1602-1688）が、かつて江戸を拠点としていた寛永 8 年（1631）頃に編纂したものであり、近世初期成立過去帳の貴重な一例である。本過去帳には約 1,700 件の物故者が記載されており、ここから当時の日順の活動を支えた僧俗の存在だけでなく、その生存時期・所在地・身分・性別・血縁関係・師弟関係・信仰圏など、様々な情報を読み取ることができる。

そこで本講座では、日順『内過去帳』を基礎史料として、内容分析を通じて明らかになった本過去帳の成立過程や史料性格、そして日順有縁の僧俗の実態などについて解説し、近世過去帳からうかがえる信仰世界の一端を紐解いてみたい。

#### 【講師略歴】

本間俊文（ほんま しゅんぶん）：1982 年新潟県生まれ。立正大学仏教学部宗学科卒業、同大学院博士後期課程修了。博士（文学）。立正大学非常勤講師、助教を経て、現在准教授。著書に『初期日興門流史研究』（山喜房佛書林、2015 年）、『シリーズ日蓮 3 日蓮教団の成立と展開』（分担執筆、春秋社、2015 年）、『江戸大仏』（分担執筆、八木書店、2024 年）などがある。

### 第6回 「五時八教は天台教判に非ず」の再検討 講師：花野充道 先生

【日 時】 2025 年 9 月 27 日（土） 午後 3 時 30 分～5 時 30 分

#### 【講義概要】

昭和 47 年、天台宗の関口真大氏は、日本印度学仏教学会で「五時八教は天台教判に非ず」と題して発表された。関口氏は、「純円独妙の法華経が、一代経教のうちの特に最も優れた経典であることを論証し、法華経を所依とする天台宗こそが、諸宗のうちの最も優れた宗旨であることを主張しようとしたものが、すなわち五時八教説である」として、そのような「五時八教なるものは、けっして天台大師が説かれたも

のではない」と主張された。

同年に刊行された『天台学報』の中でも、関口氏は、「五時八教とよばれる教判は、天台大師の教学を誤らしめるだけでなく、宗祖大師の教学の根底を破壊する」、したがって「五時八教の教判の習学は、わが天台宗の宗学においては速かに廃棄せらるべきである」と論じられている。

このような関口氏の提言は、その後、天台宗でどのようになったのか。日蓮聖人は、五時八教の教判を受容されている。日蓮教団にとって、この問題は重要なので、再検討してみたい。

#### 【講師略歴】

花野充道（はなの じゅうどう）：以下、同講座紹介の6頁「講師略歴」を参照のこと。

法華コモンズ仏教学林 2025年度前期 連続講座全6回 **対面&実況**

## 「『法華経』『法華文句』講義」

講師：菅野 博史 先生

#### 【講義概要】

今年度の前期も、『法華経』『法華文句』の講義を継続します。『法華文句』は『法華経』の随文釈義の注釈書ですので、「注釈書読みの經典知らず」にならないためには、『法華文句』を読むときには、常に『法華経』の本文を読まなければなりません。現在、『法華文句』の本文を地道に読む機会はほとんどないと思われるので、この講義では、『法華文句』の本文をすべて読んでいきます。もちろん同時に『法華経』も読んでいきます。受講生のご希望がある限り、地道に続けていきたいと思っています。今期は「信解品」の随文釈義の部分进行学习していきます。

- ★教科書『法華文句』Ⅲ（第三文明社、各冊 2,530 円）※コモンズ割引価格 2,000 円（受付にて）
- ★『法華経』はプリントを配布します

#### 【講師略歴】

菅野博史（かんの ひろし）：1952 年福島県生まれ。1976 年東京大学文学部印度哲学印度文学科卒業。1984 年東京大学大学院博士課程（印度哲学）単位取得退学。1994 年文学博士（東京大学）。現在、創価大学大学院教授、（公財）東洋哲学研究所副所長。専門は、仏教学、中国仏教思想史。著書に『一念三千とは何か—『摩訶止観』正修止観章一』（第三文明社）、『法華経入門』（岩波書店）、『中国法華思想の研究』（春秋社）、『南北朝・隋代の中国仏教思想研究』『法華経—永遠の菩薩道一』（大蔵出版）、『中国仏教の經典解釈と思想研究』（法藏館）など多数。訳書に、『法華玄義』上・中・下、『法華文句』（Ⅰ）～（Ⅳ）、『摩訶止観』（Ⅰ）・（Ⅱ）（以上、第三文明社）、『現代語訳 法華玄義』上・下（東洋哲学研究所）、『現代語訳 法華玄義釈籤』上・中・下二（松森秀幸と共訳、東洋哲学研究所）など多数。

【講義日】 全6回、時間（原則・最終月曜日）：午後6時30分～8時30分

第1回（第83講）	4月28日	第4回（第86講）	7月28日
第2回（第84講）	5月26日	第5回（第87講）	8月25日
第3回（第85講）	6月30日	第6回（第88講）	9月29日

【会場】 新宿 常円寺 祖師堂 地階ホール

【受講料】 1期6回分 12,000円 ※当日1回の受講料は 3,000円です

## 「『摩訶止観』講義」

対面&実況

福神研究所主催 講師 菅野 博史 先生 ※『文句』講義と同日の午後3時半より

### 福神研究所主催 『摩訶止観』講義の再開のご挨拶

菅野 博史

『摩訶止観』の講義を開始したのは、2014年9月22日でした。福神研究所の主催で、新宿常円寺を会場として、毎月一回の講義を行ないました。五年半ほど続け、巻第五下の「若無、無不能生」（T46, 64c19）まで講義したところで、コロナ禍のために、講義を中断せざるを得なくなりました。2022年8月29日から『摩訶止観』講義を再開し、対面・オンライン実況の形式で進めています。毎月一回（原則的に、月末の月曜日）、午後3時半～5時半の2時間の講義といたします。

#### ●テキストについて

○基本テキスト：『摩訶止観』上下二冊（岩波文庫）

○参考図書：菅野 博史 著『一念三千とは何か―『摩訶止観』正修止観章一』第三文明社

※その他、必要な参考資料やレジュメはこちらで用意して配布いたします

#### ●開催日時：『法華経』『法華文句』講義」と同日の、午後3時30分～5時30分

第1回（第99講）	4月28日	第4回（第102講）	7月28日
第2回（第100講）	5月26日	第5回（第103講）	8月25日
第3回（第101講）	6月30日	第6回（第104講）	9月29日

●会場：新宿 常円寺 祖師堂 地階ホール

●受講料：1回2,000円（対面もオンラインも同額です、受講料の納入は毎回ごととなります）

※「対面は当日払い」予約が不要。／「オンライン」は予約が必要。

●オンライン（Zoom）実況の予約と受講について

- ① メールでオンライン受講の申込み（氏名・連絡先）をお送りください⇒ [koueizan@zenryu-ji.jp](mailto:koueizan@zenryu-ji.jp)  
② 折り返し「『摩訶止観』講義の告知」欄の URL をお知らせしますので、Peatix からお申込み・受講料の納入をお願いいたします。お申し込み後は、毎月の開催案内をメールにて送ります。

**主催：福神研究所** 静岡県富士市今泉 1-1-1 本國寺内 FAX：0545-52-009

## 年間《賛助会員》加入のお願い

法華コモンズ仏教学林では、本学林の趣旨に賛同して運営の維持に協力して頂ける「年間賛助会員」を募集しています。下記の要領にて受付けておりますので、ぜひご協力のほどお願いいたします。

### 【年間賛助会員 加入申込み】

個人会員 一年間1口(1万円) / 法人・団体会員 一年間1口(5万円)

### 《お申込み年度の特典》

- ① 個人会員で6口以上の方には、会員のみ使える年間フリーパス受講証を差し上げます
- ② 法人・団体会員では2口で、誰でも使える年間フリーパス受講証を差し上げます

※「年間フリーパス受講証」は、開設の全ての講座を一年間無料受講することができます。

●お申込み頂ける方は、下記の内容を書いて、FAX またメールにてお申し込み下さい。

- ★ 個人か法人か、また何口かを明記する。
- ★ 名前、年齢、住所、電話、ファックスまたメールアドレスを明記する。

メールアドレス⇒[hokkecommons@gmail.com](mailto:hokkecommons@gmail.com) / FAX 番号⇒ 042-627-7227

●直接にご加入・ご支援を頂ける方は、郵便振込用紙にて通信欄に口数をご明記の上、下記の口座にてお振込み下さい。

【口座名】法華コモンズ仏教学林 【口座番号】00150-7-634712

## 受講の申込について

受講申込みの方は、この頁をコピーして《申込欄》に御記入頂きまして、下記の「FAX 番号」にご送信ください。  
また、当学林の「ブログ」の受講申込欄からのお申込みや、「メール」でのお申込みも受付けております  
受講の申込みが届きましたら、「受講手続き書類」をお送りいたします。その手続きに従って「受講料」をお振込下さい。お振込を確認しましたら、「受講証」・「受講の手引き」そして領収書をお送りします。なお、受講者が極端に少ない場合は開講を見合わせる場合もございますので、ご了承下さい。

メールアドレス ⇒ [hokkecommons@gmail.com](mailto:hokkecommons@gmail.com)

FAX 番号 ⇒ 042-627-7227 / ブログ ⇒ <https://hokke-commons.jp>

.....《 申 込 欄 》.....

《受講希望の講座の□をチェックして下さい（いくつでも結構です）

「仏教哲学再考②—大乘起信論」を手掛かりにIV—」（4回） 講師：末木文美士

歴史から考える⑫「中世社会と寺社の諸相」（4回） 講師：菊地 大樹

「法華仏教講座」（通し受講 6回分）

第1回講師：花野充道 /  第2回講師：川崎弘志 /  第3回講師：土倉 宏

第4回講師：坂井法暉 /  第4回講師：本間俊文 /  第6回講師：花野充道

『法華経』『法華文句』講義」（6回） 講師：菅野 博史

上記、チェックを入れた講座の受講申込みをいたします

○氏名 \_\_\_\_\_ 男・女 \_\_\_\_\_ 才

○住所 〒 \_\_\_\_\_

○電話 \_\_\_\_\_ Fax (mail) \_\_\_\_\_

2025(令和7)年 2月16日 発行 法華コモンズ仏教学林 事務局

192-0051 八王子市元本郷町 1-1-9 善龍寺内 FAX 042-627-7227